

様式第3号（第4条関係）

30年 3月15日

飯綱町議会議長

清水 満 様

議員 住 所 飯綱町大字赤塩1243-1 番地

氏 名 石川 信雄



飯綱町議会政務活動費交付金実績報告書

29年11月28日付飯綱町指令29飯議第59号で交付決定のあった飯綱町議会政務活動費交付金について、飯綱町議会政務活動費の交付に関する条例第8条及び飯綱町議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により収支報告書等を添付し報告します。

記

- 1 交付対象期間 29年 11月 から 30年 3月まで
- 2 事業実績（活動実績、成果及び課題、今後の展望など政務活動全般について記載）
 - ・活動実績 子供の貧困対策等について、先進地の事例を学習
 - ・成果及び課題 地域包括センターを主軸にした共生社会の実現
 - ・今後の展望 地域の実情（飯綱町）にあった福祉・教育施策の提言

3 支出報告書

項 目	交付申請額	支出額	増減
調査研究費	円	円	円
会議研修費	50,000円	31,840円	△18,160円
広報広聴費	円	円	円
資料購入費	円	円	円
情報通信費	円	円	円
事務費	円	円	円
合 計	50,000円	31,840円	△18,160円

- 3 政務活動費支出報告書（費用別明細） 別紙
- 4 政務活動報告書 別紙
- 5 領収書等添付用紙 別紙

様式第5号（第4条第3項関係）

29年度 政務活動報告書兼政務活動費支出報告書

議員氏名

石川 信雄



政務活動の概略

活動の名称	自己研修	政務活動番号	1
実施年月日	2月5日	実施場所	東京
参加議員名	清水 均 青山 弘（複数参加の場合）		

費用項目及び費用別明細書番号

項目	費用別明細番号	合計金額
調査研究費		円
会議研修費	1, 2, 3	31,840円
広報広聴費		円
資料購入費		円
情報通信費		円
事務費		円
支出合計		31,840円

活動内容

活動の目的と意義	委員会質疑で指摘すべきポイント 厚生福祉編
活動の内容	これからの社会保障費について 地域包括システム 地域共生社会の実現に向けて
活動の成果及び課題	元佐賀県武雄市長の経験を通してのこれからの課題 子育て支援、特に貧困家庭への施策 バリアフリー、ユニバーサルデザインの導入 LGBTについて、他の動向
議会活動への反映	30年6月議会一般質問で施設のバリアフリー（階段、トイレ他）について質問予定
備考	別紙にて研修の詳細を報告

※ 活動の内容が確認できる資料、写真等を貼付すること。

※ 政務活動費支出報告書（政務活動報告書）と同様な内容であれば、任意の用紙でも可とする。



活動の名称	自己研修	政務活動番号	1
-------	------	--------	---

公開をしますので重ねて添付しないこと。

費用別明細番号

領 収 証

石川信雄 様

30年2月5日

★ **¥15,000**

但「委員会質疑で指摘すべきポイント2厚生福祉編」
2/5 14:00～ 研修会受講代として
上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297



領 収 証

石川 様

2018年 2月 5日

金8,000円

ただし、乗車券類代として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
長野802 No.000015



領 収 書

Receipt

領収年月日 2018.-2.-5

金額 ¥8,000 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(10302 1枚)

東海旅客鉄道株式会社
東京駅
東京駅MV813発行 20303-02

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

領収証

ご利用日付 2018年-2月-5日

時刻 08時41分

券番号: 7835

取引内容: 乗車券類購入 金420円

印紙税申告納付につき上田税務署承認済 伝票番号: 10085

●ご利用ありがとうございます。

牟礼駅 券01発行
しなの鉄道株式会社

領収証

ご利用日付 2018年02月05日

時刻 20時28分

取引内容: 乗車券類
購入金額 金420円

お支払方法 内訳
現金 金420円

伝票番号: 77139

●この領収証は大切に保存してください。
●毎度ありがとうございます。

長野駅 券303発行
JR東日本

平成30年3月15日

飯綱町議会議長 清水 満 殿

飯綱町議会議員 石川 信雄



自己研修結果報告書

自己研修の結果を、次の通り報告します。

記

1. 研修会等の名称	地方議員研究会 予算議会直前 委員会特別講座 厚生福祉編
2. 場所	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
3. 期間	平成30年2月5（月）14：00 ～ 16：30
4. 結果	下記の通り

(1) 研修の目的

- ① 社会保障費の増大が顕著になってきているが、これからの政策課題をどのように捉え、今後の町行政へ政策提言していくためのスキルアップの為。

(2) 他の参加議員

- ・ 清水 均、青山 弘

(3) 視察研修内容

元佐賀県武雄市長の経験から現場サイド（行政）の立場を踏まえた意見を聞き、いかに職員的能力を引き出すかを学ぶ。

1 格差社会における子供の貧困の実態

* 武雄市の実例報告

武雄市教育委員会こどもの貧困対策課が取り組んだことは、「みんなの笑顔係」を作り専門性を高めた。

また、子どもの貧困対策ワーキンググループを副市長の他に福祉課、健康課、企画課からメンバーを揃えて、より横断的、多面的に連携した。

- ・調査1 武雄市子どもの生活実態調査
- ・調査2 ひとり親家庭へのアンケート調査
- ・調査3 関係機関へのヒアリング調査

をして、現状の認識を新たにした。その後、平成29年3月には、武雄市子どもの未来応援計画（5年間）を策定した。数ある施策のなかでも特徴的なことは、対象者には元教師ボランティア等による伴奏型のコーディネーターを配置し学習の支援。

2 障がい者福祉、地域包括ケアシステムを新たなまちづくり「地域づくり」の機会とする「地域共生社会」の実現。「富山型デイサービス」「おじゃまる広場」の実例報告では、高齢者および障がい者がボランティア活動に参加し、暮らしと生きがいを共に創る共生社会が広まってきている。

(4) 所感

格差社会が進む日本であるが、その弊害は弱者に向けられる。そのなかで、これからのセーフティネットをどう構築していくのかが問われるが、子どもの貧困に着目した武雄市の施策を学び、現在、子育て支援策を拡充する我が飯綱町が教育環境を整備していくうえで、今後どうあるのが望ましいか、大変参考になった。また、そのほかの地域共生社会の実現に向けては、先進地の事例を聞き、新たな気づきを得られたことなどから、良い研修になった。今回、学習したことを、これからの議員活動の糧とし更なる研鑽に努めたい。